



CATVの最新技術が集結する (写真は昨年の会場の様子)

ケーブルテレビテクノフェア2026

27日に大阪マーチャндаイズ・マートビルで開催

最新技術・ソリューション展示

地域密着型メディアの役割強化

日本ケーブルテレビ連盟近畿支部 技術部会は、「ケーブルテレビテクノフェア in Kansai 2026」を、2月27日に大阪市中央区のOMOビル(大阪マーチャндаイズ・マートビル)で開催する。

今回のテーマは『地域をもっと豊かに』ケーブルがつなぐ未来社会』。地方創生に向け、CATVの役割の重要性が高まっている。そこで機器展示や技術セミナーなどを通じて、最新の高度なCATV技術に関する情報の共有、業界全体の知識と理解の向上を図る。

人口減少や少子高齢化、若者のテレビ離れなど、CATV業界の環境は大

きく変化してきた。それらに対応するための、地域DXビジネス創出、FTTHネットワークの高度化、IP伝送システム、防災情報サービス、AI活用など最新の製品・ソリューションが一堂に集結する。

機器展示会場は全4ブース(43社)で構成。来場無料、事前登録制。

◆◆◆

【日時】2月27日/展示ゾーン10-17時、セミナー10時35分-17時40分

【会場】OMOビル2階(大阪市中央区大手前1-7-31)

【詳細】公式サイト: cable-fair.com/2026/

地域DX・FTTH技術の最前線

各種セミナーを実施

◆セミナールーム10 Mビル1階ラウンジ(定員100名)

【NOKIA GPO】Nで加速する光アクセス革新(10時50分-11時30分)▽講師:伊藤忠ケールシステム/営業本部 営業第1部第1課 長 田部井和道氏

伊藤忠ケールシステムが取り扱うNOKIA GPOの特長と世界で拡大するGPO市場動向、国内で進むGPOからの切り替え潮流、さらには同社の移

行事例を交えて説明する【地方創生最前線】(12時30分-13時30分)▽講師:内閣官房 地域未来戦略本部事務局 内閣参事官 赤羽元氏

東京圏への一極集中や地方の人口減少が続く中、地方創生を巡る国の施策などの最新の情報や全国各地における好事例を報告

◆セミナールーム20 Mビル2階F2ホール(定員45名)

【BWA/5G基地局のメンテナンスと監視手法】(10時35分-11時15分)▽講師:VIAVIソリューションズ/ソリューションズペシャリス ト 酒井頭氏

地域BWAやローカル5G基地局におけるトラブルの検知や監視方法などについて、これまでの事例を元に解説

開発部 製品設計2課 長 野中文貴氏、技術統括本部ネットワーク事業推進部事業戦略課課長 村田光一氏

IP伝送のラインアップとして、地デジSPやFMSPの製品紹介、さらにELLiteの活用事例を報告する

【安心・安全・快適の未来を創造するサービス】(15時35分-16時15分)▽講師:住友電気工業/端末の展望-IPスティックとAI-STB

【安心・安全・快適の未来を創造するサービス】(15時35分-16時15分)▽講師:住友電気工業/端末の展望-IPスティックとAI-STB

安心・安全・快適な生活を実現するためのサービスが進化している。この画・推奨する「ケーブル」によるIPスティックによるIPサービスの始動し、生活のより豊かにするソリューションを提案

【次世代ケーブルテレビサービスの展望-IPスティックとAI-STB】(16時30分-17時30分)▽講師:日本ケーブルラボ

講演では、IPスティックの実用化という新たな現実と、進化を続けるSTBの系譜という2つの流れを踏まえ、今後CATVの端末がどのような姿へと向かっていくのかを、特にAI活用視点で展望する

AI活用による新規ビジネス報告

【J・COMの監視・運用の実践事例】(12時25分-13時5分)▽講師:JCOM/技術運用本部 ネットワークオペレーションセンター/マネージャ ー 瀧脇強氏

J・COMの監視・運用体制を中心に、BCP対応による設備冗長化や東西拠点の運用体制、RPAツール活用や効率化事例を説明

【XGEOの学ば、Wi-Fiネットワークの測定と改善】(13時20分-14時)▽講師:ネットセーブ/営業統括本部 営業部 営業グループ チーフ 工藤諒氏

Wi-Fiステータス「Wi-XGO」を活用して、短時間でWi-Fi環境の診断から改善ポイントの発見までをするための実践的な手法を解説

【お客様と共に進化する光アクセス技術】(14時15分-14時55分)▽講師:古河電気工業/プロードバンドソリューション

事業部門プロードバンドシステム部アプリケーション 推進本部ID企画推進 部長 坂爪丈久氏、LINE WORKS/Lead Sty Development 営業 第一本部プロダクト営業 本部長 村上正人氏

JDSが検討中のAIを活用したデータ戦略を紹介し、業界課題を解決する革新的なアプローチについて説明する

【ARPU向上や解約抑止を実現する新たなサブスクリプション商材のご紹介】(17時17時40分)

▽講師:中海テレビ放送/未来創造本部お客様サービス部カスタマー課主任 松本陽平氏、マックスサポート/コンテンツ営業部長 砂川宏樹氏

もしもの時に安心の2つのセットプランを案内。先行で販売を開始した中海テレビ放送の状況も報告する

ケーブルテレビテクノフェア in Kansai 2026 出展者	
アイテック阪急阪神	大電
アルテリア・ネットワークス	中海テレビ放送/マックスサポート
イスマ設備設計	DXアンテナ
伊藤忠ケーブルシステム	東亜ソフトウェア
伊藤忠テクノソリューションズ	東京シー・エム・シー
ウエストン	東京電機産業
AJCC	東洋紡エンジニアリング
NECマグナスコミュニケーションズ	日本デジタル配信
エレコム	ネクストキャディックス
北村製作所	ネットセーブ
共栄システム産業	Baicells Japan
協和テクノロジーズ	パナソニックコネク
サイネット	阪神ケーブルエンジニアリング
XACK	BKtelパシフィック・リム
サテライトコミュニケーションズネットワーク	ビデオトロン
JR西日本光ネットワーク	フジクラ
JOHNAN	古河電気工業
シンクレイヤ	北信テレネックス
親和精密	マスプロ電工
住友電気工業	ミハル通信
ダイコー通産	リーダー電子

プロードネットワークスとAI-STB) (16時30分-17時30分) S対応を軸とした高機能端末へと進化してきた。

▽講師:日本ケーブルラボ 講演では、IPスティックの実用化という新たな現実と、進化を続けるSTBの系譜という2つの流れを踏まえ、今後CATVの端末がどのような姿へと向かっていくのかを、特にAI活用視点で展望する

特集

ケーブルテレビテクノ フェア in Kansai 2026

ビデオトロン Vbusに実装するモジュール型 SDI 4分割マルチビューワー

ビデオトロンは、3G対応シグナルモニター&ビューワー「SMV70H」、3G対応4chアナログ音声マルチプレクサー「MUX-30H1A」を展示する。

SMV70Hは、Vbusに実装するモジュールタイプのSDI 4分割マルチビューワー。各SDI入力には非同期に対応し、SDIエラー、無音、フリーズ



SMV-70H

黒味等を検知する監視機能を搭載している。漢字タイトル、音声レベルメーター、オーディオ/ビデオの比較監視が可能。元長化システムにも適したスタート/ストップ制御機能も搭載。定点カメラや回線システム、映像制作や収録現場での監視等、幅広い場面で活用できる。

MUX-30H1Aは、バランスアナログ音声4系統入力およびAES/EBUデジタル音声

Cリアルタイムコーデック「ELL Lite」と、CATV局の相互バックアップを可能にする「IP伝送システム」を



ELL Lite

これは、ブース内にモニター十カメラのセットを2組設置し、来場者がそれぞれのモニターの前に立ち、画面に映る相手と「じゃんけん」をするもの。わずかな遅延でも成立しないこのゲームが成り立つことで、ELL Liteの極超低遅延IP伝送

ミハル通信は、多チャネルPCM音声に対応した2K/4K HEVC映像・音声を「極超低遅延」でIP伝送できることが最大の特長。その性能を来場者が実際に体感できる「遠隔じゃんけん」デモを実施する。

「ミハル通信「ELL Lite」でIP伝送 遠隔じゃんけん」で性能を証明

性能を証明する。また、放送局向け中継システムとしての活用事例について説明する。

伊藤忠ケーブルシステム FTTHのさらなる高速化実現 NOKIA社製25G-PONシステム

伊藤忠ケーブルシステムの増加やコンテンツの大容量化に伴う、個人および企業の多様なニーズに対応できる。



ノキア製25G ONT U-010Y-A

伊藤忠ケーブルシステムの増加やコンテンツの大容量化に伴う、個人および企業の多様なニーズに対応できる。また、放送局向け中継システムとしての活用事例について説明する。

例について説明する。書発生時のBCP(事業継続計画)対策がCATV局にとって重要な課題となっている。同システムを活用する。近年は、異常気象に伴うゲリラ豪雨や大型台風による降雨減衰など、障害を発生させる。映像品質を維持できる。

「IP伝送システム」は、CATV局のセンタースタジオ、またはセンタースタジオとサブセンタースタジオ間の相互バックアップによる相互バックアップ環境を構築可能。近年は、異常気象に伴うゲリラ豪雨や大型台風による降雨減衰など、障害を発生させる。映像品質を維持できる。

「まるごとホームサポート」は、CATV局の安定収益と顧客満足度の向上を支える、新しい保証サービス。スマートフォンの2台を基本に、台数無制限でデジタルデバイスを一括サポート。保証額は最大30万円、さらにスマートフォンを追加すると最大40万円まで拡大できる。

経験豊富な専門スタッフがトラブル対応をし、修理・交換・金銭支払いから選べる保証特典も提供。安心と利便性を両立し、顧客満足度をさらに高める。

Immersive イマーシブ・ライブ

多彩な映像・音響体験を実現

リモートプロダクション
Remote Platform
映像素材プラットフォーム

映像伝送・放送無線で未来を拓く
技術とソリューション

感動体験を
極超低遅延 がつなく
Powered by Extreme Low Latency

ELL Lite

2K・4K 極超低遅延 伝送	HEVC 圧縮 軽量伝送 実現	最大 64ch PCM 音声 伝送可能	1台で エンコーダー デコーダー 同時動作可能
----------------------	-----------------------	---------------------------	----------------------------------

出展告知
ケーブルテレビテクノフェア in Kansai 2026
2026/2/27(金) OMMビル (大阪マーチャンダイズ・マート)

ELL Lite が実現する
【極超低遅延 IP 伝送】

会場で「遠隔じゃんけん」をリアル体験

三井通信株式会社
鎌倉本社 〒247-0051 神奈川県鎌倉市岩瀬1285 (研究開発部門・製造部門・営業部門・管理部門)
東日本営業所 甲信越営業所 中部営業所 関西営業所 中国営業所 九州営業所